



2022年8月10日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理本部付 IR 担当部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

営業外収益の発生及び2023年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期1四半期連結累計期間において、営業外収益を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の発生

2023年3月期第1四半期連結累計期間において、為替差益60百万円を計上いたしました。これは主として米ドルに対して円安が進んだことにより外貨建ての売掛債権につき発生したものであります。

2. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,590	百万円 △90	百万円 △110	百万円 △120	円 銭 △5.15
今回予想 (B)	2,600	30	50	35	1.50
増減額 (B-A)	10	120	160	155	
増減率 (%)	0.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,437	84	△12	△237	△10.17

修正の理由

反射鏡の販売数は、国際物流の混乱を背景としたプロジェクターメーカーの部品調達前倒しが2022年3月期第4四半期に進んだことの反動で減少する見込みですが、対米ドルで円安が進んでいることなどにより、売上高は、前回発表を10百万円上回る見込みです。

エネルギー・原材料価格の急速な高騰前に生産した在庫を取り崩していることで売上原価の上昇は抑えられております。なお、前倒し需要による納品で減少した在庫水準は増産により復元される見込みです。また、円安ドル高により米ドル建て販売している製品の円換算売上単価が上昇しているため、営業利益は前回発表を120百万円上回る見込みです。これに外貨建ての売掛債権につき発生する為替差益も加わり、経常利益は前回発表を160百万円上回る見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、エネルギー・原材料価格の動向、主な輸出先である中国での新型コロナウイルス感染対策の影響、半導体需給バランスの動向などによる影響が不透明であることから、2022年5月13日公表の予想値を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正の必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上